

機関番号：32651
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2008年 ～ 2010年
 課題番号：20592515
 研究課題名（和文）プランゲ文庫所蔵検閲史料による占領下日本における看護の社会的活動の分析
 研究課題名（英文） Analysis of social activity of nursing from 1945 through 1949 in Japan from the Gordon W. Prange Collection
 研究代表者
 大石 杉乃 (OISHI SUGINO)
 東京慈恵会医科大学・医学部・教授
 研究者番号：40194071

研究成果の概要（和文）：本研究は、プランゲ文庫の現地調査により、看護の出版物と検閲結果を分析し、占領下看護改革に対する社会的評価を明らかにすることを目的とした。以下の結果が得られた。(1) 看護の組織は実質的に戦後 GHQ 看護課の指導により誕生し、GHQ 看護課の指導下で活動していたことが、出版物から示された。(2) 新聞の一般記事および広告には、地域が抱える看護の状況が反映されていた。(3) 地方の看護の機関誌の発刊には、GHQ 看護課および日本人保健婦たちの影響がみられた。

研究成果の概要（英文）：The results of censorship of nursing publications from 1945 through 1949 in Japan are thought to be housed in the Gordon W. Prange Collection at the University of Maryland. The purposes of this study were to investigate the circumstances of publishing concerning nursing, clarify the society's valuation to nursing in occupied Japan. The results were as follows;

1. When the nursing publications were issued, Nursing Affairs Divisions (NAD), Public health and Welfare (PH&W) assisted Japanese nurses.
2. NAD and Japanese public health nurses made an effort to publish of the local nursing journals.
3. Newspaper advertisements showed local nursing matters in Japan.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	2,400,000	720,000	3,120,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・基礎看護学

キーワード：看護の歴史

1. 研究開始当初の背景

(1) 占領期に日本で発行された刊行物すべて

は GHQ の検閲を受けた。占領期の 1945 年か

ら 1949 年にかけて日本で出版された刊行物のすべてとその検閲結果は、米国、メリーランド大学の Gordon W. Prange Collection (以下、プランゲ文庫) に所蔵されている。プランゲ文庫に所蔵されている新聞はマイクロフィッシュ化され日本の国立国会図書館憲政資料室でも閲覧できるようになったが、新聞紙面に記載されている検閲メモや紙面に占める記事の割合は現地調査でしか明らかにすることができない。

(2) プランゲ文庫の史料は膨大であり、かつ未整理のものが多く、研究者は、未だ、史料の一部を対象とした研究しか行っていない。研究者が行って来た研究の結果、General Headquarters Supreme Commander for the Allied Powers(以下、GHQ)の公式の方針と実際の活動が一致していない例が認められた。看護の社会的活動においては、GHQによる規制が少なくなかったことが予測される。

(3) 当時の看護の実態(宣伝や啓蒙を含め)を最も反映していると考えられるのが新聞、ポスター、パンフレットである。これらの内容を分析することにより、当時の看護が行っていた、あるいは行おうとしていた社会的活動の実態を明らかにすることが可能になると考えられる。また、これらに対して GHQ が行った検閲内容を分析することにより、GHQ 公衆衛生福祉局文書(PH&W Records)には表われない GHQ の看護に対する指導や規制の実態を明らかにすることも可能になると考えられる。

(4) 山本武利らの『占領期新聞・雑誌情報データベース』(以下、『占領期データベース』)を活用することにより、日本国内にある公的

なデータベースでは検索できない、記事のタイトル、サブタイトルおよび広告に記載された「看護」に関する文字が抽出できる。『占領期データベース』の活用とプランゲ文庫の現地調査により、新聞に掲載された日本全体および地方における看護の実態、各地方における GHQ 方針の受け入れについても新たな情報が得られる可能性がある。

2. 研究の目的

本研究の目的は、『占領期データベース』を活用し、メリーランド大学のプランゲ文庫の現地調査を行い、占領期に発行された看護に関する「新聞」の記事と広告、パンフレット、ポスター、これらに対する検閲結果を分析し、日本全体および地方における占領下看護改革に対する社会的評価を明らかにすることである。

3. 研究の方法

(1) 調査対象は、プランゲ文庫所蔵史料、PH&W Records、プランゲ文庫所蔵の出版物および検閲文書とした。新聞の調査では、『占領期データベース』で検索可能な九州、四国、中国、北陸地方を対象とした。

(2) 現地調査に先んじ、『占領期データベース』およびプランゲ文庫データベース(メリーランド大学公開)をもとに、看護に関する記事リストを作成した。

(3) 現地調査では、以下のことを行なった。

① 作成した記事リストと実際の出版物との照合(内容、段組、紙面全体に占める対象記事の割合、発信者、検閲の有無)を行った。
② “Pamphlet List” およびポスターは、内容を調査した。

4. 研究成果

(1)

プランゲ文庫所蔵の “Pamphlet List” に

は、1948年10月1日から1949年10月25日までの間に総数7,220部のパンフレットが収載されていた。全7,220部を記載された記号に基づき分類したところ、上位3位は、SL(教科書など)1,009部(13.95%)、Lit(文学)780部(10.80%)、EあるいはEd(教育)701部(9.71%)であった。医学あるいは医療に関する分類は、MW(1949年3月11日以前)、Med(1949年3月22日以降)と表記され、100部(1.39%)が該当した。これらを分類すると、医学知識20部、疾病・治療18部、結核11部、性教育8部、漢方・鍼灸7部が上位を占めていた。看護は1部のみであり、パンフレット名は“KANGOGAKU KOZA”であった。1948年には、『看護學講座』が学術書院からシリーズで発行されており、このうちの1冊がパンフレット扱いになったものと考えられる。医学と看護の収載数の差は、医師の組織には戦前から活動しているものも多く、当時からかなり自立して活動していたのに対し、看護の組織は実質的に戦後GHQ看護課の指導により誕生し、その活動もGHQ看護課の指導下で行われていたことによるものと考えられた。

(2) 1949年7月8日に行われたGHQ公衆衛生福祉局 Grace Elizabeth Alt(以下、オルト)が記者会見した記事(以下、対象記事)は共同通信社を通して配信された。対象地域における新聞協会加盟の地方紙は、四国が7紙、九州が12紙、中国が1紙、北陸が1紙であった。『占領期データベース』で、一般記事を対象にkey word「看護」で記事を検索したところ、合計254件が抽出された。四国は、九州に比し「看護」に関する記事が少なく、1社あたりの「看護」の記事数も九州の約50%であった。ところが、対象記事については、九州では掲載した新聞社はなかったが、

四国では1社を除く6社が第2面に2~5段組で大きく掲載していた。中国および北陸ではそれぞれ1件で、掲載には地域差がみられた。対象記事には「オルト女史帰国」と記されており、対象記事は、日本の看護婦たちに、オルトがGHQ看護課長を退任したと誤解させた可能性がある。

(3) 『占領期データベース』(九州、四国、中国、北陸)で、key ward「看護」で新聞を検索したところ、広告では235件が検出された。新聞の記事や広告には、看護婦不足、新制度の甲種看護婦学校生の志願者が少ない、中国残留看護婦の帰国など、その地域が抱える看護の状況が反映されていた。

(4) プランゲ文庫には73枚のポスターが所蔵されていた。ポスターに掲載されていた事項は、結核予防、手洗い、排泄物処理、栄養補給など公衆衛生に関するものが多く、看護に関するものはなかった。また、PH&W Recordsに掲載されている看護のポスターが所蔵されていないことより、すべてのポスターがプランゲ文庫に所蔵されているとは言えないことが明らかになった。

(5) プランゲ文庫において、地方の組織が発刊した看護の機関誌5誌を発見した。第二次世界大戦後に発刊された看護の雑誌は、1946年7月の「保健婦事業」(大阪府)、1946年8月の「まごころ」(保健婦協会北九州支部)、1947年6月の「保健婦」(熊本縣保健婦協会文化部代表者福井京子)、1947年9月の「愛のひかり」(埼玉県)、1947年11月の「すこやか」(長野県保健婦協会)であった。5誌中4誌が保健婦により発刊されており、5誌ともGHQ看護課の影響を受けていた。

(6)ポスター、パンフレット、新聞記事、新聞広告には、発刊の保留と停止の形跡はなかった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

①大石杉乃、写真と特集記事で振り返る病院の60年、病院、査読無、Vol. 68、No. 1、pp. 65-68, 2009

〔学会発表〕(計7件)

①大石杉乃、プランゲ文庫所蔵の新聞記事からみた占領下九州地方の看護の状況、第29回日本看護科学学会学術集会(北海道)、2010.12.3

②大石杉乃、プランゲ文庫所蔵新聞記事にみられるGHQ看護課長オルトの記者会見の分析、第111回日本医史学会(栃木県)、2010.6.12

図書

〔図書〕(計1件)

①川島みどり他監修(大石杉乃 第6章、第9章)、日本看護協会出版会、日本の看護：歴史をつくるあなたへ、2008、231

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

6. 研究組織

(1)研究代表者

大石 杉乃 (OISHI SUGINO)
東京慈恵会医科大学・医学部・教授
研究者番号：40194071